

県医労新聞

2017年10月
盛岡市内丸11番1号
岩手県医療局労働組合
電話 019-623-8271
FAX 019-623-8273
URL <http://www.iwate-ken-irou.org/>

編集発行人
中野 るみ子
毎月1回発行1928号(月刊142号)



アクトインサマー in 愛知(8月25日～27日 愛知県蒲郡市)

目次

- 1 P 復興岩手県民会議総会
- 2 P 岩手医労連第70回定期大会
いわて労連第29回定期大会
- 3 P 青年部ニュース
- 4 P 青年部ニュース、女性部ニュース
- 5 P 看護要求実現全国交流集会
支部だより
- 6 P つぶやき、とんがらし
8月号パズル当選者
- 7 P お知らせ
 - ◇県医労年末決起集会
 - ◇県医労青年部中央交流集会懸賞パズル 10・11月の予定



「アクトインサマー」閉会式～愛知(右から2人目)から北海道(左)へ～

「復興はまだ途上」と私たちが発信を!

復興県民会議第7回総会



特別報告の岩泉町
應家総務課長

「東日本大震災津波救援・復興岩手県民会議」第7回総会が、台風10号被害から1年余が経過した岩泉町で開催され、県内各地から90名、県医労から3支部・本部5名が参加しました。

「台風10号豪雨災害の被害状況と復旧・復興の現状について」と題した特別報告で、岩泉町・應家総務課長は、当時河川の水位が最大で6メートルを超えたと紹介。人的被害は関連死2名を含む死者22名、行方不明者1名。建物被害は住家984棟にのぼり、被害総額は328億円を超え(東日本大震災時の約10倍)、町内全域にわたった被害の甚

全国保育研に参加して

8月5～7日に開催された全国保育団体合同研究集会に参加しました。

初日から、さいたまスーパーアリーナに9,005名の参加、全国の仲間たちのパワーに圧倒されながらも、記念講演や分科会を通じて、未来の子どもたちのために熱いメッセージを受けてきました。

私自身まさに今子育て中というなか、集中して保育の仕事について振り返り、私たちが今やるべきことについて学ぶことができました。

保育の仲間たちにも伝え、よりよい保育をめざし、毎日の保育の中でこの経験を生かしていきます。



〇〇〇〇〇〇保育所 〇〇〇〇

大きな報告をしました。激甚災害に指定されたものの、国はあくまでも「通常の災害」との立場であり、財源



県内各地からの参加者

捻出のために町長はじめ幹部が省庁や国会議員など陳情にまわっている状況だと話しました。復興にあたっては、集落の形成が課題であり、住民が望む地域に住み続けられるようフォローしていくのが町役場の役割だと述べました。町内いたる所にある「生活橋」の70カ所が流され、義援金を募集しているとのことでした。

総会の活動方針で金野代表世話人(いわて労連議長)が東日本大震災から6年半、住まいの再建も生業の再生も「復興はまだ途上」であり、引き続き被災者に寄り添った復興を求めていこうと提起。山田町町議や宮古市の「防潮堤を考える会」代表から発言がありました。

来賓として、畑浩治氏(民進党)と斉藤信氏(共産党県議)から、激励と連帯のあいさつがありました。

岩手医労連第70回定期大会開催

働き続けられる職場を 力を合わせてつくっていこう



2日間で開催された大会

岩手医労連第70回定期大会が、9月2日(土)、3日(日)の両日、盛岡市つなぎ「ホテル大観」で開催されました。

中野執行委員長のあいさつに続いて、来賓の日本医労連、いわて労連、日本共産党各代表があいさつし、自由党からのメッセージが紹介されました。五十嵐書記長から方針提起を受け、2日間にわたり、各単組からの討論が続きました。

討論では、病院建て替えに伴う一時金の引き下げ提案に、粘り強く団体交渉で追及し、一定の譲歩を勝ち取った取り組み、ストライキをかまえて交渉し、増員



発言する〇〇代議員

いわて労連第29回定期大会開催

格差と貧困を無くし、 暮らしの底上げを

いわて労連第29回定期大会が、9月9日(土)、盛岡市勤労福祉会館で開催され、岩手医労連など各加盟単産・単組、地域労連の代議員が参加しました。

来賓として、全労連事務局次長、自由党・木戸口参議院議員、共産党・菅原泉

で前向きな回答を引き出した取り組み、新採用が定着しない・募集しても来ない、9回・10回夜勤になつてい

る実態なども報告されました。特に、2年後の病院移転を予定している医大教職組からは、NICUの3対1看護に関して、休憩時間の対応から補助金返還を命じられたことが紹介されま

委員長などが激励のあいさつをしました。

討論では、昨年の台風被害から1年経った岩泉町の現状、戦争法廃止や共謀罪反対の取り組み、最賃・農業・ブラックバイトなど、各分野から発言がありました。

新年度役員には、〇〇議

した。県医労からは〇〇代議員、〇〇代議員が、不払いとなつている超過勤務、特に始業時間前や夜勤の時の休めなかつた休憩時間の超過勤務手当を請求する運動や、自らの体験も踏まえ、た正循環夜勤を広める取り組みなどを発言し、討論に参加しました。

運動方針は、圧倒的多数



長(県医労特別執行委員)、〇〇副議長(同執行委員長)、〇〇〇幹事(同特別執行委員)が再任されました。

で採択されました。決算、予算の承認に続いて、産別ストライキ権が投票で確立しました。特別中執に、引き続き〇〇、〇〇両氏を決定。役員体制は、執行委員長に中野県医労中央執行委員長、新執行委員に〇〇同書記長を、新会計監査委員に〇〇同副委員長を信任しました。

8月25日～27日、第19回日本医労連全国青年交流集会(全国アクトインサマー)が愛知県蒲郡市を中心に開催され、全国から500名が参加し、3日間さまざまな企画を通して交流を深めました。岩手からは11名、県医労からは6名が参加しました。参加者の感想を紹介します。

全国アクト in 愛知 ♡♡



どろだんご作ってハイチーズ♪

2泊3日という期間の中でフィールドワークや夜祭りといった様々な活動を通し班のメンバー等との交流を深めることが出来ました。班のメンバーとは現在も連絡を取り合っており、アクトに参加したことで交友関係を広げることが出来ました。とても楽しく充実した3日間でした。次回も参加したいと思います。ありがとうございました。

南光支部 ○○○○

初めてのアクトだったのですが年齢、職種、経歴の垣根を越えて楽しむことができました。自分らが置かれている現代の労働環境や、他病院の組合活動を意見交流でき勉強になり教養となりました。青年部でいられるのも残り少ないのですが組合活動に積極的に参加してみたいです。

南光支部 ○○○○



フィールドワークで班の絆が深まりました！



☆アクトに参加した県医労6人☆

参加してみて、全国の方々と交流できて楽しかったです。また様々な職種の方の話を聞いて勉強になりました。フィールドワークや夜会を通して多くのことを経験できました。充実した三日間でした。

南光支部 ○○○○

初めての全国アクトで緊張もありましたが、各地から集まった優しく楽しい班員のおかげで充実した3日間になりました。また、全国からたくさんの青年が自分達の働く環境について学び、より良いものにしていくための活動に参加していることを知り、労働者が力を合わせることが職場の環境を変え、働きやすい環境が将来の医療や福祉を支えていくことを学びました。そして初めて丸3日間も同期と同じ時間を過ごし絆が深まったと思うので、これからも仲良く、切磋琢磨しながら成長していきたいと思います。

南光支部 ○○○○



3日間で班の絆は深まるばかり♪



3日間を通して医療・介護に携わる同世代の仲間たちと交流を深められる貴重な時間でした。堅苦しいイメージだった組合活動を楽しみながら話し、学び、絆を深めて団結できる、そんな時間を過ごせるのもアクトだからこそなのだと感じました。来年はみちのくアクトは岩手、再来年の全国アクトは北海道です。是非、多くの青年を送り出したいと思います。

書記局 ○○○○



アクトに参加した東北ブロックの仲間♪

一戸支部青年部定期大会



青年部第1号となる定期大会開催！



定期大会後の夕食懇親会

愛知アクトでは、これまでの組合イベントで仲良くなった人たち、前回の全国アクトで同じ班だったメンバーとの再会もあり、楽しく過ごすことができました。班交流でもまた新たに繋がりができ、いろんな職場、いろんな環境での話を聞くことができました。

県医労からも初参加で不安や緊張でドキドキだったと思いますが、たくさん一緒に参加できて本当によかったと思います。学習会ももちろんですが、青年部ではそれよりも繋がりを作ること、そこからうまれる会話から学んで感じる人が多いと思います。今回のアクトでもみんなにそんなことを感じてもらえていたら嬉しいです。

青年部長 ○○○○

第62回はたらく女性の岩手県集会

とき **12月9日(土)13時30分～15時30分**

ところ **盛岡市勤労福祉会館**

講演 **「一人ひとりの声が社会を変える」(仮題)**

講師 **川田忠明さん**



【プロフィール】

1959年生まれ。東京大学経済学部卒。世界40か国以上を訪れ、各国の平和団体などと交流。日本平和委員会常任理事、原水爆禁止日本協議会全国担当常任理事などを務める。日本平和学会会員。著書に「社会を変える23章 そして自分も変わる」など。

「診療の補助ではなく医師の補助ではなく患者を補助すること」

看護要求全国交流集会

9月6日～7日、「2017年看護要求実現全国交流集会」が静岡県・伊東市で開催されました。

合・県医労連から147名が参加しました。県医労からは2名の参加でした。

2017年秋「いのちまもるキャラバン行動」の決起集会としても位置づけられたこの集会には全国組

1日目は神戸看護大学の

林千冬さんが『医師・看護師の働き方ビジョン』の問題点、あらためて看護の専門性とは何かを考える」と題して講演をしました。

林さんは、『医師・看護師などの働き方ビジョン検討会』と言いながら『働かせ方改革』

会場の様子

になっいて、医師中心の働き方ビジョンになっている。看護師の特定行為は、医師不足の穴埋め、安上りの診療補助者育成に過ぎず、個別的指示があれば、准看護師も看護師も実施可能であるとい

う恐ろしいもの」と指摘しました。

そして、「医療を選ぶのは国民だが、国民に医療の実態は知らされていない。私たちが行っている看護を可視化し、国民に実態を訴えていこう」と述べ、診療の補助は、診察する人（医師）の補助ではなく、受ける人（患者）を補助すること、つまり患者に寄り添った看護をするため技をみがいていくことが、「いける看護師になっていると思えること」だと激励の言葉で締めくくりました。

その後4つの分散会と初心者分科会、特定行為・働き方ビジョン分科会に分かれ2日目まで意見交流を行いました。

秋闘に向けて 実態調査のお願い

救急対応の部門と交代制部門での実態調査を各支部で取り組み中です。何れも10月中頃までの取り組みです。

救急部門は、当直・待機者の勤務実態調査、交代制

部門は三交代・二交代の夜勤での休憩時間の実態調査です。職場改善



善に向けた大事な取り組みですので、ご協力をお願いします。

また、分会会議の開催も呼び掛けています。職場の問題をみんなて話し合ってみましょう。

中央支部 秋の遠足

女性部企画 「うみの杜水族館」へ行こう!!

中央支部では、9月17日（日）、32名の参加で、「仙台うみの杜水族館」と「キリンビール工場」に行ってきました。「徐々に子どもと行けて良かった」と好評でした。



びんざん

日本母親大会のあふれる熱気に圧倒されました。同時に元気をもらいました。地道に粘り強く活動していきたいと思います。

久慈支部 ココちゃん

毎日いろいろと疲れますね。パワハラのない世界へ行きたい。

宮古支部 みたママ

9回夜勤がすっかり当たり前にされている。異常な超勤時間。さらに超勤に対する圧力。離職者が出るのも当然です。募集したって来るはず無いでしょ。いい加減、気がつかないものでしょうか。

大船渡支部 ハクシヨン大魔王

夜勤での休憩を1時間取るように言われますが、急性期の病院は毎日夜も急患

が数人来ます。休憩なんて取れません。水分補給もできません。

中央支部 ちよび

夏が過ぎると待ち遠しくなります。早く来い来い、冬のボーナス。

久慈支部 シヨンママ

4歳の息子が初めて自分で金魚すくいに成功！毎日。エサを食べて太ってきました。

二戸支部 金魚すくい

当選者発表

8月号パズル

8月号パズル「まちがいは7つ」には33名の応募があり、32名が正解でした。厳正なる抽選の結果、次の10名が当選されましたので図書カードを贈ります。

渡支部)

■8月号当選者(敬称略)

よしたから(二戸支部)、キュアホイップ、象足(以上、一戸支部)、粉もん、ももま、アツサン(以上、中央支部)、おりづる、シラネアオイ(南光支部)、ハル(大東支部)、はなちゃん(大船渡支部)

医療局は大きな組織として、良きリーダーとなれる人材を育てていく必要があると思います。物事を円滑に進めていくのもリーダーの力かもしれません。部下に信頼されてこそリーダーなのだと思えます。今すぐにでも、そういう上司がほしいと思います。

南光支部 ○○○○

とんがらし

労働政策審議会「働き方改革」法案の審議がスタートしました▼安倍「働き方改革」は、過労死促進、残業代ゼロ、労働時間の概念をなくす議論を法律として強行しようとしています▼非正規雇用労働者の低賃金を固定化する見せかけの「同一労働同一賃金」も進めようとしています▼高度プルフェツシヨナル(高プロ)制度導入や裁量労働制の拡大は現行の労働時間制度を根底から破壊するものです。高プロの働き方は、①1日の労働時間が24時間でもOK②割増賃金ゼロ③休憩無し④休日無し⑤36協定無し。いわゆるこの法案は労働基準法が定める労働時間・休憩・休日・深夜割増賃金などの規程を適用しない残業代ゼロ法案

です▼いずれも財界側が労働法の規制緩和・骨抜きをすすめるために、労働者の声を極力排除しています▼「働き方改革」は「働かせ方改革」に他なりません。労働者側からは「ただ働き労働になる」「過労死しても自己責任にされてしまう」と批判の声があがっています。これに対して安倍首相は「レッテル貼りだ。時間ではなく成果で評価する新しい制度だ」と言い訳しています。「成果で評価する」というのもごまかします。大企業や財界の都合がいい働かせ方法案は反対です▼月100時間、2〜6ヶ月平均80時間という過労死ラインの残業を認める重大な「抜け穴」が特別条項です。これを撤回しなければ、長時間勤務や休憩時間を確保出来ない過酷な夜勤業務をしている医療労働者の過労死が増えるのではないかと憤りを覚えます。(す)



秋年末闘争要求実現

県医労中央決起集会

2017年

11月9日(木)

10:00~12:00

岩手県公会堂21号室

がんばろう!



職場改善のため、団結して声をあげよう!

「80年の歴史と食文化を学ぶ」

県医労青年部 中央交流会 in



11月21日(火)、22日(水)

参加費 17,000円

<行程予定>

21日(火) 「すしざんまい」で昼食

築地市場の自由見学

ホテルヘチェックイン

東京ディズニーリゾートへ

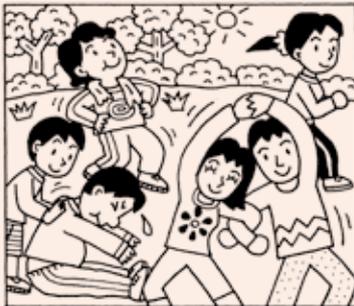
22日(水) 自由行動



勤務希望、年次の請求をしよう!

上下どちらかの絵に7つ
の間違い箇所を印をつけ、
ハガキに貼付して、応募し
て下さい。正解者の中から、
抽選で10名の組合員に図書
カードを送ります。送り先
は〒0200-0023 盛
岡市内丸1-1、県医労「懸
賞パズル」係まで。締切は
10月末日(必着)です。ま
た、抽選には関係ありませ
んが、ハガキの余白に7つ

懸賞パズル



まちがいは7つ



「ぶやき」(職場の話題など何
でも)を、ぜひ一言お書き下
さい。県医労新聞で紹介す
る場合がありますので、匿
名希望の方は必ずペンネー
ムをお書きください。ただ
し、当選した場合は、記念
品の送り先が必要となりま
すので、支部名・本名の記
入をお忘れなく!

10月の予定

- 4日(水)~5日(木)
2017年共済推進全国交流集会(第2回、京都)
県医労女性部長会議
- 5日(木)
2017年地域課題研究交流集会(サンビル)
- 7日(土)
岩手医労連女性部第31回定期大会(水産会館)
- 13日(金)
岩手医労連青年部第37回定期大会(県民会館)
- 14日(土)~15日(日)
第62回はたらく女性の中央集会 in 東京
憲法・いのち・社会保障を守る10.19国民集会(日比谷野音)
- 19日(木)
県医労第158回中央委員会(サンセール盛岡)
- 21日(土)
県医労看護部会 & 看護指導監との懇談(県公会堂)
- 24日(火)
フレッシュセミナー (ホテル森の風鸞宿)
- 28日(土)~29日(日)

11月の予定

- 4日(土)~5日(日)
岩手医労連壮年部集会(ホテル紫苑)
- 9日(木)
県医労中央決起集会(県公会堂)
支部長会議
- 13日(月)~14日(火)
栄養管理部門集会(ホテル紅葉館)
- 18日(土)~19日(日)
日本医労連非正規雇用労働者の全国交流集会
in 岩手(花巻温泉)
- 18日(土)~19日(日)
働くもののいのちと健康を守る「東北セミナー
in 福島・飯坂」(飯坂ホテル)
- 21日(火)
県医労看護部会(県民会館)
- 21日(火)~22日(水)
県医労青年部中央交流集会(東京)
- 25日(土)~26日(日)
第27回病院給食問題全国交流集会(福島)